令和2年(2020 年)度 佐賀県老人福祉施設協議会 事業計画

【基本方針】

介護サービスが量から質へとその実態を評価する方向へと進み、介護分野の人材難は質・量ともに益々深刻化しています。

このような中で、経営の安定化や人材確保、質の高いサービス提供を図るとともに、地域包括ケアシステム構築を念頭に、社会福祉法人としての意義役割を踏まえ、低所得高齢者への対応、地域貢献事業等の実践も必要とされています。

本会は、これらの課題に迅速に対応し、利用者視点の立場から、また施設運営・経営の基盤強化と提供するサービスの質の向上を図り、顧客満足度を得るため、一層の議論と研鑽を深め、種々の事業に取組むものとします。

重点項目

１.各委員会の活動充実　　２.研修事業の充実　　３.組織活動の充実強化

【事業計画】

１．役員会

重点項目に沿った事業の推進並びに本会組織活動全般の執行。

1.定例（毎月）会議の開催

新2.会則の一部改正に係る内容の協議

3.高校生等を対象とする社会貢献活動の実施

4.佐賀県老人福祉施設研究発表会（実施：サービス委員会）の開催

新5.外国人留学生の受入れ支援及び外国人介護人材確保に関する調査研究

6.原子力災害避難に関する施設相互協定の推進と避難訓練の実施

新7.災害時の被災施設及び福祉避難所等への支援に関する調査研究

8.ふれあい事業部会への活動支援

(1) ふれあい事業部会

1.施設利用者（養護老人ホーム、ケアハウス）　グラウンドゴルフ大会の開催

内容　グラウンドゴルフ競技を通じた施設利用者の親睦と健康増進

期日　令和２年１０月２９日（木）　〔予備日１１月４日(水)〕

会場　佐賀市民運動広場

2.職員の福利厚生・婚活支援のための懇談会・レクリエーション企画実施

２．養護老人ホーム委員会

●活動方針

近年、高齢化の一層の進展と経済情勢の悪化等により養護老人ホームを取り巻く環境は大きく変化し、ことに地域包括ケアシステムの柱である「住まい」の一つとして、身寄りのない高齢者、精神疾患者、生活困窮者、触法高齢者など地域で疎外される高齢者へのセーフティネット機能の期待が高まっている。さらに、介護保険制度改革等により、養護老人ホームに入所している要介護者への対応方法は幅広いものとなっている。

その様な中、措置制度下において運営される養護老人ホームは、多くの課題を抱えており、市町の財政状況や方針によっては、施設運営そのものにも影響を及ぼしている。本委員会では、

養護老人ホームの本来機能や、新たな役割等を踏まえ、個別ニーズに対応したサービス向上と、各施設の実情と運営について研鑽を図る。

●活動内容　（研修会２回、委員会４回）

1. 栄養士、調理員研修会の開催【軽費老人ホーム・ケアハウス委員会との合同開催】
2. 相談員、支援員、看護職員研修会の開催
3. 委員会の開催（４回／年）

３．軽費老人ホーム、ケアハウス委員会

●活動方針

利用者の加齢に伴う認知症など介護の重度化、居住系サービスとの区別化、人材確保、老朽化した施設の大規模修繕や建て替え、さらに財源確保の問題など様々な課題に直面している。これらの課題を踏まえ利用者ニーズに対応し、その人らしい暮らし方の支援について考える。

●活動内容　（研修会３回、委員会４回）

1. 栄養士・調理員研修会の開催【養護老人ホーム委員会との合同開催】
2. 相談員・介護職員視察研修会の開催
3. 施設長研修会の開催
4. 委員会の開催（４回／年）
5. その他

４．経営管理委員会

●活動方針

社会福祉法人としての健全なる経営を行うための情報を収集し、地域における介護サービスの事業推進を行っていく。

また、施設経営の基本に係わる経営組織体制を厳しく見つめ直し、事業経営・管理を推進する研修会を実施する。

●活動内容　（研修会１回、委員会４回）

1. 様々な経営課題に関する意見交換
2. 施設長を対象とした研修会の開催【経営管理委員会にて協議し、必要に応じ開催する。】
3. 委員会の開催（４回／年）

５．人材育成委員会

●活動方針

人材（外国人を含む）の確保に関して必要な情報を収集し、会員施設へ提供する。また、外国人を雇用する施設間の情報の共有と連携を図る。

職員の質の向上を図ることを目的に次の研修会を開催する。

職員に求められる役割と技術について学習し、業務改善・人材育成・職場の活性化についての研修会を開催する。

●活動内容　（研修会１回、委員会３回）

1. 業務改善（ICT・介護ロボットの活用）、外国人の雇用及び育成、職場の活性化についての研修会の開催
2. 委員会の開催（３回／年）

６．サービス委員会

●活動方針

利用者の尊厳を保持するために必要な、より専門的で質の高いサービスの提供に努めると共に、地域貢献や低所得者・生活困窮者への支援等を行うため、会員施設相互の意見交換会や職員対象の研修会を実施する。

●活動内容　（研修会１回、委員会４回）

1. 第３回 佐賀県老人福祉施設研究発表会の開催（１回／年）
2. 委員会の開催（４回／年）

７．危機管理委員会

●活動方針

施設・事業所における災害に対して対処できるように、被害軽減・抑止に向けた事前・事後対策を講じていく。

また、防災計画の策定・充実、施設間協定等の整備拡充を図っていく。

●活動内容　（研修会１回、委員会４回）

1. 施設災害対策等危機管理に関する意見交換
2. 事故防止及び事故対応策に関する研修会開催
3. 施設防災計画等策定検討（令和元年８月豪雨災害後の検討状況）
4. 委員会の開催（年４回）

８. デイサービス委員会

●活動方針

日々の生活は、住み慣れた家や地域で暮らしたいと願うものである。私たちは、利用者が生きがい（楽しみ）を持ち、可能な限り自立した日常生活が維持できるように、在宅生活の延長線上にデイサービスがあるという視点に立ち、個別の環境、生活上のニーズに寄り添える支援を目指し、「楽しかった。」、「また、デイサービスに行きたい。」と求めていただける地域の拠点となれるように、情報収集に取り組み提供するサービスの質の向上に努める。

●活動内容　（研修会３回、委員会４回）

1. デイサービスセンター職員研修会
2. 委員及び職員先進地視察研修
3. 意見・情報交換研修会
4. 委員会の開催（４回／年）

◎課題　1. 利用者の自立支援に努める⇒個別援助計画の立て方、記録の取り方

2. 利用者の接遇（リスクマネジメント）
⇒個人の尊厳と個別性を尊重し信頼関係を構築する。社会性の再構築に努める。

3. 利用者の楽しみの実現・生きがいづくり
⇒選択できる適切なレクリエーションを沢山用意する。

4. コミュニケーション能力の向上
5. 総合事業への具体的取り組みについて検討
6. 今後の時代の変化に対応するための情報収集と検討

９．ホームヘルプ委員会

●活動方針

ホームヘルプサービスを提供するための資質向上に努めながら、専門性を生かし求められる役割を担っていく。

また、在宅生活の維持向上を図り、地域包括ケアシステムの実現に貢献する。

●活動内容　（研修会２回、委員会３回）

1. 訪問介護員・サービス提供責任者研修会の開催
2. 調理講習会の開催
3. 会議の開催（３回／年）

１０．地域密着型委員会

●活動方針

地域密着型サービスが、住み慣れた地域で“その人らしい”暮らしを支援するためには、これまで培ってきた人間関係や地域との関りを把握し、その関係を尊重することが大切である。今後、地域包括ケアシステムの構築に向けた実践展開が期待されていることから、本委員会では、地域密着型サービスの運営・展開方策、現在抱えている課題とその対応について研鑽を図っていく。

●活動内容　（研修会２回、委員会３回）

1. 実践発表研修会の開催（10 月）
2. 職員研修会の開催（2 月下旬）
3. ホーム長等の意見情報交換会及び視察研修の開催
4. 会議の開催（３回/年）

１１．若楠育成委員会

●活動方針・活動内容

活動概要）①各ブロック間の連絡調整及び、全体活動の検討を行う。
②介護人材の確保及び介護ロボット・ＩＣＴの活用に向けた検討。
③介護報酬改定に伴う情報の収集と交換。

1. 委員会の開催(年４回)　4 月・7 月・10 月・3 月
2. 全体会議(年１回)　6 月
3. ブロック合同研修会(年１回)　10 月

●若楠育成部会員のブロック活動は、次のとおりとする。

〇第１ブロック

活動概要）①人材の育成と確保
②サービスの質の向上
③地域貢献

具体的には、各施設の現状と課題についての意見交換及び情報共有を図り、職員が根付く働きやすい職場環境づくりを目指す。また、地域貢献については、地域ニーズの抽出を行い、今後、各施設においてどのような地域貢献ができるかを考えていく。

＊会議の開催(年３回)　６月・１０月・1 月

○第２ブロック

活動概要）①人材確保と育成について

②離職防止に対する取り組み

③感染に対する取り組みと対策・情報の共有

感染に対する取り組みと対策を重点に年間を通して感染拡大の防止に努める様情報交換を行う。

また、各種課題に向けての意見・情報の交換をもとにサービスの質の向上とお互いのスキルアップを図る

＊会議の開催(年３回)　６月・１０月・１月

○第３ブロック

活動概要）①地域との関わり（地域でのネットワーク作り）に関する取り組み

②人材確保及び離職防止に関する取り組み

地域との関わり方について、どのような関わりや連携、ネットワーク作りを行っていくことが必要か、また、人材確保及び離職者を極力出さないためにどのような取り組みが有用であるかを中心に、意見交換、情報共有、協議を行い、地域に根付いた施設づくり、働きやすい職場づくり、利用者様が安心して生活できる環境の提供へ繋げる。

＊会議の開催(年３回)　６月・１０月・１月

○第４ブロック

活動概要）①人材確保・育成についての取り組み

②災害や感染症予防に対する取り組み

上記をテーマに、施設見学や各施設との協議・意見交換を通して課題解決を図っていく。

＊会議の開催(年３回)　６月（全体会)・１０月・１月

○第５ブロック（養護老人ホーム)

活動概要）　「多様化するニーズへの課題と対応策」をメインテーマに各施設の課題や情報を共有・協議し部会員の相互向上を目指す、部会員施設のみならず県内外の施設見学も併せて行い、課題検討だけに留まらない有意義な情報交換の場とする。

＊会議の開催(年３回)　６月・１０月・２月

○第６ブロック（軽費老人ホーム・ケアハウス)

活動概要）　「利用者ニーズの多様化に即した施設経営への取り組み」をテーマとして、各施設間で情報を共有し、課題や役割について検討及び意見交換、施設見学を行う事で、課題解決・サービス向上へ繋げる。

＊会議の開催(年３回)　６月、１０月、２月

各連絡会の開催

○施設長連絡会　【所属　役員会】
○事務長【事務職員】連絡会　【所属　役員会】
○施設 介護支援専門員連絡会　【所属　経営管理委員会】
○生活相談員連絡会　【所属　若楠育成委員会】
○介護職員連絡会　【所属　人材育成委員会】
○看護職員連絡会　【所属　危機管理委員会】
○栄養士・調理員連絡会　【所属　サービス委員会】

九社連老人福祉施設協議会関係事業

○九州老人福祉施設職員研究大会（長崎）　令和2年7月2日(木)～3日(金)
○九社連老人福祉施設協議会 施設長研修会（宮崎）　令和3年3月4日(木)～5日(金)

【参考】

○九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー（沖縄）
令和2年11月12日(木)・13日(金)

全国老人福祉施設協議会関係事業

○第77回　全国老人福祉施設大会（山形大会）
日程：令和2年9月29日（火）～30日（水）
会場：山形県山形市（やまぎん県民ホール　他）
○2020年度　全国老人福祉施設研究会議（鹿児島会議）
日程：令和2年11月25日（水）～26日（木）
会場：鹿児島県鹿児島市（鹿児島市民文化ホール　他）
○九州ブロックカントリーミーティング（熊本大会）
日程：令和2年12月9日（水）～10日（木）
会場：未定